

# 平成23年度 下田市の 決算

## 一般会計

平成23年度においては、歳入決算は約96億円、歳出決算は約91億円となり、繰越金が約5億円、実質単年度収支で約1億円の黒字となりました。東日本大震災後の市内経済に与える影響を緩和するため、中止となった黒船祭の代替イベントとして「東日本大震災復興支援チャリティー下田元氣祭」を開催、あじさい祭には特別列車を運行しました。また、市内中小企業の経済対策として利子補給金制度の大幅な拡充を図りました。防災対策としては、消防団にデジタル簡易無線機を購入し、

各家庭への防災ラジオの配布事業、自主防災会へ防災用資材整備のための補助金交付、消防団第4分団詰所建設事業、ポンプ自動車等の整備事業を行いました。観光施策としては、市民文化会館前とペリーロードに公衆トイレを整備し、旧澤村邸整備事業を継続して実施しました。また、新庁舎建設事業として、庁舎の基本構想・基本計画の策定に着手したほか、認定こども園建設事業にかかる基本計画の策定や、建設候補地の調査測量、及び学校給食センターの基本計画も策定しました。

市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月に財政事情の公表を行っています。皆さんの税金や国、県からの交付金がどのように使われているかをあらかず、下田市の家計簿とよべるものです。今回は、平成23年度決算と平成24年度上期の予算執行状況についてお知らせします。

## 健全化判断比率

財政の健全化が必要かどうかを判断する新たな指標を整備し、公表することで、比率が悪化した団体に早期に財政の健全化を促すための法律「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、平成19年度決算から4つの健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)と資金不足比率を算定し、公表しています。

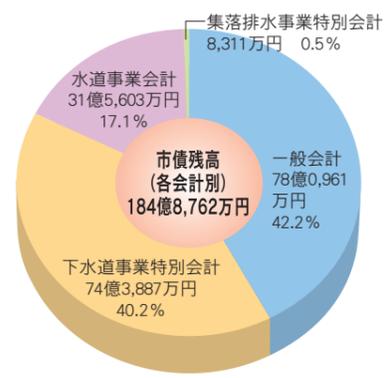
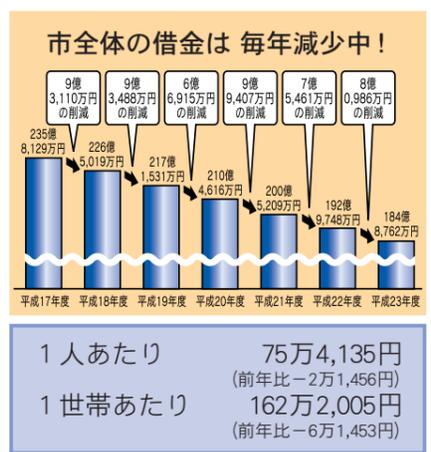
区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
下田市	-	-	12.8%	76.9%
早期健全化基準(下田市の場合)	14.36%	19.36%	25.0%	350.0%

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字のため、「-」で表示しています。

### 【用語解説】

- **実質赤字比率**…一般会計等の実質赤字の標準財政規模に対する割合
- **連結実質赤字比率**…全会計を合算した実質赤字額の標準財政規模に対する割合
- **実質公債費比率**…公債費および法令により準ずる公債費が標準財政規模に占める割合
- **将来負担比率**…一般会計等が将来的に負担すべき実質的な負債額の標準財政規模(標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模)に対する割合
- **資金不足比率**…公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する割合

※下田市では、対象となる水道事業会計、下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計に資金不足額はないため、算定されません。



1人あたり 75万4,135円 (前年比-2万1,456円)  
1世帯あたり 162万2,005円 (前年比-6万1,453円)

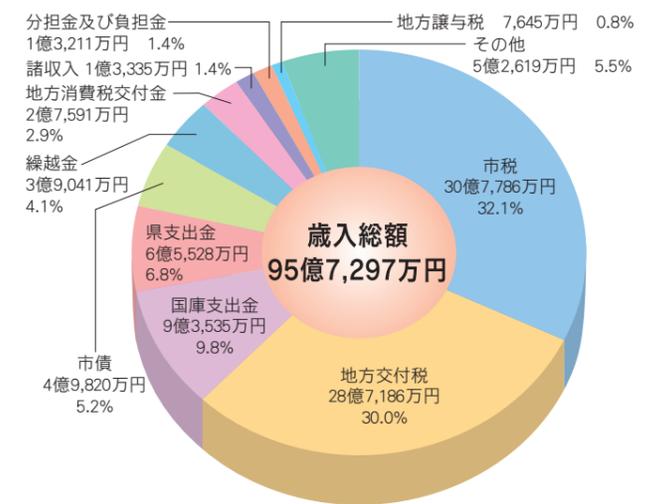
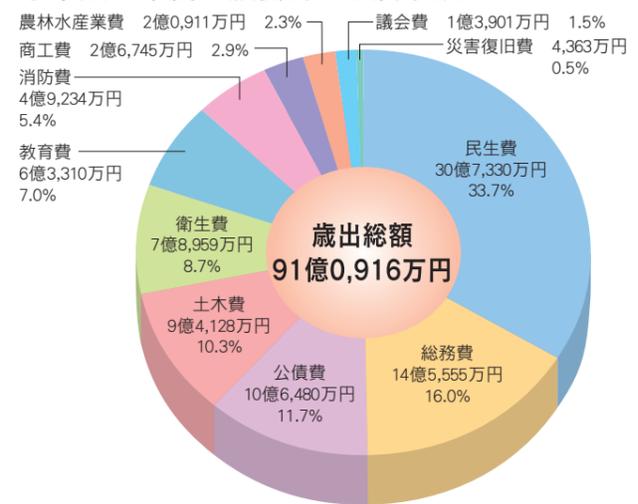
一般会計における平成23年度の市債借入額は、4億9,820万円で、主に臨時財政対策債、須崎・白浜漁港水産基盤整備事業、消防団第4分団詰所建設事業、ポンプ自動車等の整備などで借入され、前年度に比べて1億0,630万円、17.6%の減少となっています。財政健全化のため、平成22年度末の全会計(一般、集落排水、下水道、水道)市債残高を200億円以下とする目標を達成し、平成23年度末の市債残高は、約185億円となりました。

## 市債の状況

## 特別会計

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	158万円	157万円	47万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,202万円	1,203万円	1,044万円
公共用地取得特別会計	302万円	301万円	301万円
国民健康保険事業特別会計	34億8,920万円	36億2,683万円	34億0,197万円
介護保険特別会計	20億9,404万円	20億7,862万円	20億6,972万円
後期高齢者医療特別会計	3億0,184万円	2億9,252万円	2億8,174万円
集落排水事業特別会計	1,695万円	1,661万円	1,614万円
下水道事業特別会計	11億3,593万円	11億3,711万円	11億1,757万円

## 平成23年度一般会計の決算状況



## 人口と世帯数・市有財産の状況

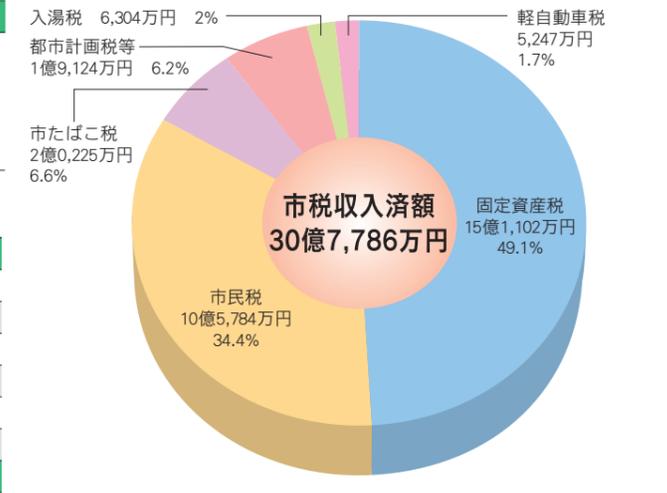
人口と世帯数		市有財産	
人口	24,515人 (男 11,805人、女 12,710人)	土地	3,896,350㎡
世帯	11,398世帯	建物	87,979㎡
		有価証券	220万円
		出資による権利	8億5,832万円
		基金	13億6,298万円

【平成24年3月31日現在】

## 市税の負担状況

市税項目	1人あたり	1世帯あたり
市民税	4万3,151円	9万2,809円
固定資産税	6万1,636円	13万2,569円
軽自動車税	2,140円	4,604円
市たばこ税	8,250円	1万7,743円
入湯税	2,572円	5,531円
都市計画税等	7,801円	1万6,779円
合計	12万5,550円	27万0,035円

## 平成23年度市税収入の内訳



### 収益的収支

項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	6億8,816万円	支出合計	6億1,781万円
営業収益	6億8,299万円	営業費用	4億9,309万円
営業外収益	517万円	営業外費用	1億2,012万円
特別利益	0円	特別損失	460万円

### 資本的収支

項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	2億3,747万円	支出合計	5億3,975万円
企業債	2億3,360万円	建設改良費	3億0,127万円
出資金	80万円	企業債償還金	2億3,848万円
負担金・その他	307万円	その他	0円

収入が不足する3億0,228万円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,384万円、当年度損益勘定留保資金2億3,652万円、減債積立金5,192万円にて補てんしました。

## 水道事業会計